

第2回 JR 貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会の概要について

【問い合わせ先】

鉄道局JR・国鉄清算業務監理室

荻原、杉田、古橋

代表:03-5253-8111 内線:40242,40223

直通:03-5253-8530

1. 6月26日(火)14時00分から、国土交通省3号館4階特別会議室において、「第2回 JR 貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会」が開催されました。
2. 出席者は別紙のとおりです。
3. 今回の懇談会では、冒頭、平田鉄道局長より「地球環境問題等を背景に鉄道貨物輸送に課せられた役割は重く、業界ヒアリング等を通じて明らかになった鉄道貨物輸送の弱点に対し、JR貨物と通運が連携して具体的なメニューを作成し、関係者がそれぞれ責任を持って実行していくことを内外に明示することが、役割発揮懇談会の成果として重要である。」と挨拶を述べたあと、大口鉄道局次長を座長に会議が進められました。議事内容といたしましては、国土交通省から、「業種別荷主ヒアリングを踏まえた、JR貨物、通運業界、荷主業界等の連携による更なる鉄道貨物輸送ニーズ実現に向けた取り組みについて」、JR貨物から、「JR貨物による輸送品質改善アクションプラン」について説明がなされ、その後、各業界団体代表の方々と意見交換が行われました。
各業界代表の方の意見概要は以下のとおりです。

- ・ 今後、貨物列車ダイヤの設定や運用について、ソリューションチームの活用等をおして協議を深めていきたい。
- ・ 輸送障害時の連絡体制が問題である。連絡の不備のたびに対策等が現場まで浸透していないと感じている。管理部門だけでなく現場まで行き渡るような連絡体制をきちんと整備してほしい。
- ・ 31ft コンテナ取扱駅の整備は、顧客ニーズに合わせた優先順位を付けるべきである。
- ・ 改正省エネ法施行に合わせ、特定荷主がモーダルシフトに取り組むと思うが、現在の輸送力でどこまで対応できるのか定量的に示して頂きたい。
- ・ 輸送枠対策、輸送障害対策等全体的に評価できる。オフピーク輸送をうまく利用して、お互いWin-Winの関係になるような対応をしていきたい。
- ・ 温度管理コンテナのラウンド輸送や業界枠を超えた取り組みについては、多いに期待している。
- ・ モーダルシフトの取り組みに、農水省と国交省等関係省庁の連携をお願いしたい。
- ・ ソリューションチーム等では、具体的にいつまでに何ができるのかタイムフレームをはっきりしてフィードバックして欲しい。
- ・ 荷主はモーダルシフトを検討する際、トラック輸送と比較している。荷崩れ防止機能、帰り荷の確保、トラブル時の対応等についてJR貨物はコンテナ輸送についてトラックと比較して使い勝手を学んでほしい。

- ・ J R貨物と通運で責任の押し付け合いをするのではなく、連携して発生時対応及び原因分析の究明に取り組んでほしい。
- ・ 個別の対応策や荷崩れ防止策を横展開すれば、対策立案の手間や対策コストの削減が可能ではないか。
- ・ 集配を通運が独占しているため、コストが高止まりしているのではないか。
- ・ 工場からのB to B輸送が多いが、鉄道の場合、両端が通運事業者でありJ R貨物とは異なる為、使い勝手が悪い。是非、ソリューションチームの中で、両端の通運を含めて検討できたらと思う。
- ・ 今回の報告書の中は、小口貨物の対応が触れられていないのが残念。
- ・ エコレールマークの認知度が低く、本来の目的が達成されていないため、認知度向上策として、具体的な訴求をして、裾野を広げていきたい。
- ・ コンテナの往復運用に見合った運賃制度等については、J R貨物においてきちんと検討してほしい。
- ・ ソリューションチームの活動に期待。ソリューションチームには、全体、個別とも参加を希望。

以上の意見を踏まえ、座長の大口鉄道局次長より現場から経営陣まで一貫して商品ニーズや瑕疵をきちんと共有化することが大事であるということと、本日の意見も含めてアクションプランを精査の後、発表という段取りを取っていただきたいなど意見を取りまとめ、それらの意見に対してJ R貨物(株)田村副社長が回答を行いました。

さらに、大口鉄道局次長より、今は各業界が力を合わせ取り組んで行くしかないが、国交省としてもできることはやっていきたいし、今後、懇談会については、存続しながらフォローアップをしていくこととしたい旨まとめられました。

最後に、J R貨物(株)小林社長より今後の取り組みについて決意表明を行い閉会致しました。

第2回JR貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会出席者

【挨拶】

国土交通省 鉄道局長

平田 憲一郎

【座長】

国土交通省 鉄道局次長

大口 清一

【荷主業界】

日本郵政公社郵便事業総本部オペレーション本部輸送部長

上原 敏男

日本路線トラック連盟 部長

金原 将郎

(社)日本電線工業会 常務理事

下出 雅義

全国農業協同組合連合会 常務理事(物流担当)

神出 元一

(社)日本自動車部品工業会 専務理事

高橋 武秀

(社)日本冷凍食品協会 会員業務・調査部長

種谷 信一

石油化学工業協会 技術部長

戸澤 洋一

(社)日本倉庫協会 常務理事

森本 洋

(社)鉄道貨物協会 理事長

二森 茂輔

【JR貨物・通運業界】

日本貨物鉄道株式会社 代表取締役社長

小林 正明

代表取締役副社長

田村 修二

専務取締役

浅井 廣志

(社)全国通運連盟 理事長

星野 茂夫

【国土交通省】

国土交通省 鉄道局JR・国鉄清算業務監理室長

篠部 武嗣

貨物鉄道調整官

野澤 和行

国土交通省 総合政策局複合貨物流通課長

最勝寺 潔